



# Book Review



**アレン・ギンズバーグと旅するサンフランシスコ**  
カフェとビートとロックとジャズの聖地巡礼ガイド  
ビル・モーガン=著 今井栄一=訳

¥2,310 P.Vine Books



## ビートの精神を追体験

ケルアックとともにビート文学を支えたギンズバーグが過ごした地・サンフランシスコのゆかりの場所を紹介する、旅行ガイド兼ギンズバーグ研究書。彼が初の詩集『吠える/HOWL』を発売したシティ・ライツ・ブックス(現在もやっている)をはじめ、当時の空気が身体感できる場所を仔細に紹介。平和、エコ、自分探し……形を変えて今につながるビートの精神を感じられる一冊。

**勝つために戦え!**(監督ゼッキョー篇)

押井 守=著

¥1,575 徳間書店



## 運筋ばりの“監督”仕分け

『イノセンス』『スカイ・クロラ』などで知られる押井守監督が、舌鋒鋭く古今東西の映画監督の作品・スタンスをメッタ斬る! 斬る基準にする“監督勝敗論”はごくシンプルで、自分のやりたいことの実現、商業的成功、映画が撮り続けられることを軸に、“キューブリックの傲慢”“石井聰互の不変、塚本晋也の普遍”など、俯瞰した視点で熱く、鋭く分析している。

## 非常階段

A STORY OF THE KING OF NOISE

JOJO広重、美川俊治、JUNKO、コサカイフミオ、野間易通=著  
¥3,000 K&Bパブリッシャーズ



## ノイズでありつづけること

79年に結成され、嘔吐、放尿、客席への乱入……奇想天外なライブ・パフォーマンスで国内外で精力的に活動しているノイズ・バンドの、30年間を綴った初のドキュメンタリー本。JOJO広重の証言を中心に、音楽そのもののみならず、バンド自体がノイズでありつづけることの意味を解き明かす。81~2009年の伝説的ライブ4本の映像を収録したDVD付き。孤高でありすぎて、ある意味美しい。

## ONLY ONE

イム・ヒョンジュ、キム・ミノ=著 長尾知真子=訳

¥1,890 ハベルプレス



## 韓流“ポッペラ”歌手の素顔

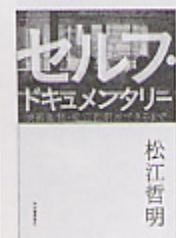
“ポッペラ”(日本ではまだなじみのない言葉だが、“ポップス×オペラ”の造語。サラ・ブライトマンのような音楽のことだそう)を歌う、韓国の人気テノール歌手、イム・ヒョンジュが20歳の時(現在25歳)に書いた自信、世界各地で大物と共演するなど成功を手に入れた彼の、生い立ちや苦悩、夢が綴られている。一見、普通の自信だが、韓国の音楽教育事情が垣間見られるのも興味深い。

## セルフ・ドキュメンタリー

映画監督・松江哲明ができるまで

松江哲明=著

¥2,310 河出書房新社



## 異世界に属する自分とその視線

ドキュメンタリー監督による映画エッセイという前置きから想像するより1,000倍は面白い。松江は人をよく見る。普通見ないところを普通見ない角度から見る。その視点が捉える世界の様相はまるで異世界、なのにそこに自分も属しているという衝撃は強烈だ。読後、世界の見え方が随分変わるといっては嘘じゃない。……童貞にして挑んだAV現場とか単純に気になる話も満載。

## ニュージャズスタディーズ

ジャズ研究の新たな領域へ

宮脇俊文、細川周平、マイク・モラスキー=著

¥3,360 アルテスパブリッシング



## ジャズをとらえるハードコアな視線

音楽を専門にする人だけでなく、歴史、文学、社会科学など、日米のさまざまな分野の専門家がジャズを題材に綴った論文を15本収める最新ジャズ論者の集成。あちこちからジャズを眺め、ジャズを振り、ジャズを喰らう。表層的なカッコいいイメージがある一方、学術的な研究対象としてジャズをとらえるハードコアな視線の先にはまだまだ豊かな平野が広がっている。

## zanky record sound art book

5th anniversary special product

残響record=著、編

¥4,725 イースト・プレス



## 9mmやシューゲだけじゃない残響

残響record設立5周年を記念した豪華装丁本には、昨年末までにリリースした全作品のアートワークが並ぶ。レーベル自体が独自のカラーを持つ残響だが、各アーティストの個性はさまざま。ECMのように完璧なトータル・コンセプトを貫くのではなく、それぞれが自由に表現し、ゆるやかに“残響”という一つの世界観を共有していることがよくわかる。

## ボクらの時代

ロングヘアという生き方

みうらじゅん、高見沢俊彦、リリー・フランキー=著

¥1,050 扶桑社



## 非モテの青春をこじらせて

童貞から仏、ロック、もちろん髪の話まで。フジテレビ『ボクらの時代』(2009年8月23日放送の回)から、みうらじゅん(52歳)、高見沢俊彦(56歳)、リリー・フランキー(46歳)という濃すぎる3人による鼎談がノーカットで書籍化。非モテのロックな青春を送ってきたおっさんの雑談2時間ぶん。明日を楽しく生きるための無駄な知識をたっぷり吸収できる。



# CD J (+DVD) Journal

10

2010  
OCTOBER

定価  
780YEN

……日本で唯一の音楽総合情報誌……

＋巻頭カラー＋

4年ぶりの新作をリリース

## ベル・アンド・セバスチャン

BELLE AND SEBASTIAN

「COOKIE SCENE」コラボ企画  
秋のグラスゴー祭り



Artists ★ Interview

グライNDERマン

EGO-WRAPPIN'

山中千尋

上岡敏之

インターポール

アミューズメント・パークス・オン・ファイア

ACO

People In The Box

村治佳織

【特集】 萩原健太の“音楽食いしん坊”  
アメリカン・ポップラー・ヴォーカル編